

## 1. 本園教育目標

1. 健全な身体をつくることに努力し、いのちを大切に子ども。
2. 「あそび」をとおして、生活の知恵を学び、友達をつくり、創造的な生き方ができる子ども。
3. 美しいものに感動し、まわりのものに深い関心をよせ、自分の発見や、考え方を表現できる子ども。

## 2. 本年度定めた重点目標

1. 子どもたちから学ぶ。手間のかかることも大切にしていこう。
2. 幼児期で育つもの、小学校期で育つもの。  
連携の取り方を考慮しながら子どもたちの育ちを丁寧にみていき、幼児期ならではの体験をたっぷり味わう。
3. 自然との関わり。本物の自然の体験から新しい発見や感動を得る。五感を使おう。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況	5段階評価
<p>教育課程、学期案、月案を基盤として目の前の子どもたちの様子から日々保育を展開する。また保育後に各クラスの様子を伝えあうことで、園全体の縦割活動につなげる。</p>	<p>個々の子どもたちの様子段階にあわせた保育を展開している。子どもたちの様子や保育の悩みを話しあい連携をとれるようにしている。縦割活動、交流は活発化しており遊びの伝承など良い機会となっている。今後も教職員で共通理解のもと、取り組んでいけると良い。</p>	4.4
<p>自然との関わりや園庭に作ったあおぞら畑や栽培活動からの学びを充実させる。</p>	<p>今年度園庭に畑を作ることを一から行い、栽培活動の難しさだけでなく楽しさも味わうことができた。畑が身近にあるという環境が、子どもたちの興味関心につながったと思う。年長児は藍を種から育て色々な染め方で染色活動を年間を通して挑戦するプロジェクトを実施できた。</p>	4.7
<p>保護者との連携（子どもたちへの共通理解）日々の活動、保育のねらい、実践の伝え方を考える。</p>	<p>園だより、クラスだより、連絡ノートを通して日々の様子を伝えるようにしている。外国籍、特別支援関係の連携は難しさを感じる事もある。保護者を含め、外部に対してホームページの改善を進めてきたが、年度末ギリギリのスタートとなった。来年度に向けて活用を拡げていきたいと思う。</p>	4.1

#### 4. 学校評価の具体的な目的や計画の総合的な評価結果

少子化の問題と共に園児数減にどう対応していけるか？  
あおぞら幼稚園の一人ひとりに丁寧に寄り添い、興味関心を広げている保育を発信していけるようにホームページを新しくする準備をし、年度末となってしまったがようやく完成することができた。  
また、あおぞら畑に関しては今まで借りていた畑（遠方）と比べたらとても小さいが、日々園生活の中で関わることは良かった。

4

#### 5. 今後取り組むべき課題

保育環境、施設設備等の取り組み

パート教諭も含めて研修会に参加して教職員の質の向上に取り組んだ。  
来年度も引き続き努めていく。  
今年度はシャッター工事（防火）の実施できた。  
大型遊具の安全点検を基に修繕等も計画して整えていく。

特別支援に対する保護者との共通理解への取り組み

今年度も園内での事例検討研修会を専門機関と共に実施している。  
支援を必要とする子どもの保護者との共通理解が難しい時があった。  
子どもたちのためにも歩みより支えていけるようにしていきたい。

#### 6. 学校関係者の評価（父母の会役員/地域関係者（卒園児父母））

地域の人口減少、小学校の統合問題等、子どもの数が減ってきている中で運営上大変な事もあるとは思いますが、園児や先生たちの変わらない元気いっぱいの姿、声をきくと安心できます。  
縦割活動も大切な学びになっていると思います。  
昨年度も話題となっていた新しいホームページも完成し、活用を拡げてほしいと思います。  
特に指摘すべき事項はありません。

4.4

※評価（5：十分に達成，4：達成，3：おおむね達成，2：要努力，1：改善を要する）